

特製・川口複音ハーモニカの特徴

「日本のハーモニカの父」と称されるハーモニカ奏者、故川口章吾氏の意志を受け継いだ特製モデルです。素直な音色をお楽しみ下さい。

特徴

吹きやすい、くわえやすい

<川口複音ハーモニカ>は演奏者のことを考え、楽な吹き口の移動ができるよう、又、くわえやすい設計にしております。

安定した音程

複音ハーモニカはいろいろな奏法で演奏ができます。例えば、マンドリン奏法、バイオリン奏法、ベース奏法等。これらの奏法も安定した音程をもつ<川口複音ハーモニカ>の美しい音があっはじめて生きてきます。

川口章吾先生（1892～1974）

藍綬褒章、勲四等旭日章、神奈川文化賞、久留島武彦翁文化賞ほか多数受賞。



略歴

1892 / 東京日本橋生まれ

1902・10才 / 一家離散、印刷所に住み込み工員となりハーモニカを吹き始める。

1909・17才 / YMCAでハーモニカ演奏デビュー。

1918・26才 / 日本楽器に部長待遇で招聘され、楽器の改良と国産化に取り組み、日本で初の本格的ハーモニカを発売、同時に合奏用楽器を開発。ハーモニカ独奏レコード発売、一躍スターの座に。

1919・27才 / ハーモニカ普及のため、わが国初の日本全国演奏ツアーを行う。

1920・28才 / 明治大学ハーモニカ・ソサエティを指導、学生ハーモニカバンド流行の端緒となる。

1924・32才 / 川口章吾ハーモニカ合奏団を設立、本格的な音楽普及活動にはいる。

1926・34才 / ハーモニカ指導書、楽譜等を出版、楽譜に対応する演奏をレコードで発売。この頃から、映画出演、ラジオ定時番組、レコード、ダンスホール出演、コンサート活動等多忙を極める。

1930・38才 / 人気絶頂のとき、横浜訓盲院から招聘され盲児たちのハーモニカ指導にはいる。

以後約40年間まったくの無料奉仕を続け、横浜訓盲院バンドを一流バンドに育成。

1948・56才 / 文部省の要請を受け学校音楽教育の器楽合奏を全国的に指導する。

業績

- ・ピース / 約170曲以上・楽譜集 / 30冊以上・レコード / 100種以上（独奏、合奏、童謡集その他）
- ・監修ハーモニカ / 45種以上

長調の音配列 (major)

○=吹音 ●=吸音

C調子

低	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	高
	レ	ド	ファ	ミ	ラ	ソ	シ	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	ド	シ	ミ	レ	ソ	ファ	ド	ラ	

2	1	4	3	6	5	7	1	2	3	4	5	6	1	7	3	2	5	4	1	6	3	7
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

23H

短調の音配列 (minor)

○=吹音 ●=吸音

Am調子

低	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	高
	シ	ラ	レ	ド	ファ	ミ	ソ	ラ	シ	ド	レ	ミ	ファ	ラ	ソ	ド	シ	ミ	レ	ラ	ファ	ド	ソ	

7	6	2	1	4	3	6	5	7	1	2	3	4	5	6	1	7	3	2	5	4	1	6
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

23H



株式会社 鈴木楽器製作所

〒430-0852 静岡県浜松市領家2-25-12 ☎(053)461-2325(代)

8907-1B-TYP-MM-041-B